

7.11 景観

7.11.1 現況調査

景観の調査は、対象事業実施区域及びその周辺における主要な眺望点の状況、景観資源の状況及び主要な眺望景観の状況を文献その他の資料調査及び現地調査により把握した。

(1) 調査項目及び調査手法

景観の文献その他の資料調査及び現地調査に係る調査項目及び調査方法を表 7.11-1に示す。

表 7.11-1 景観の調査項目及び調査方法

文献その他の資料調査		
文化庁公表資料やその他公的機関公表資料（郷土資料、自然誌、観光パンフレット等）による主要な眺望点、景観資源の状況についての情報収集及び整理		
現地調査		
環境要素	調査項目	調査方法
景観	主要な眺望景観の状況	現地調査、写真撮影等

(2) 調査地域

景観の調査地域は、景観の特性を踏まえ、環境影響を受けるおそれがあると認められる対象事業実施区域より3kmの範囲とした。

(3) 調査地点

文献等により調査した主要な眺望景観及び景観資源の状況を踏まえ、主要な眺望景観の調査地点を設定した。

調査した主要な眺望点のうち、対象事業実施区域への眺望が可能な主要な眺望点が、「白川ダム湖畔」のみであることを踏まえ、不特定多数の利用者が見込まれ身近な景観として完成後の対象事業実施区域への眺望が可能な地点や公共性の高い地点を、眺望方向が偏らないことや景観資源の眺望状況に配慮しつつ市街地も含め抽出し、「白川ダム湖畔」を含む11地点を調査地点として設定した。

調査地点を表 7.11-2及び図 7.11-1に示す。

11地点のうち、地点4、地点9、地点11以外の8地点を人と自然との触れ合いの活動の場（サイクリングコース及びハイキングコース）に設定した。

表 7.11-2 主要な眺望景観の調査地点

地点 番号	名称	眺望可能な施設	眺望可能な 景観資源	選定理由			
				身近な景観の眺望点	公共性の高い眺望点	市街地の眺望点	触れ合いの活動の場 人と自然との
地点 1	白川ダム北西湖畔	焼却施設	大和青垣国定公園 石上大塚古墳	●			●
地点 2	市道611号豊田櫟本線 (焼却施設建設区域北側)	焼却施設	—	●	●		●
地点 3	原谷池北東側	焼却施設	—	●			●
地点 4	天理よろづ相談所病院 白川分院	焼却施設	—	●	●		
地点 5	市道611号豊田櫟本線 (焼却施設建設区域東側)	焼却施設	—	●	●		●
地点 6	シャープ駐車場西端	粗大・リサイクル施設	大和青垣国定公園	●			●
地点 7	名阪国道側道 (上三ツ池南側)	焼却施設 粗大・リサイクル施設	大和青垣国定公園	●			●
地点 8	白川大橋	焼却施設	大和青垣国定公園	●	●		●
地点 9	名阪国道 (天理インター方向)	焼却施設	—		●		
地点10	ハイキングコース (東海自然歩道・山の辺の道 コース)	焼却施設	大和青垣国定公園	●			●
地点11	平司池北側 (市街地内)	焼却施設	大和青垣国定公園 和爾下神社			●	

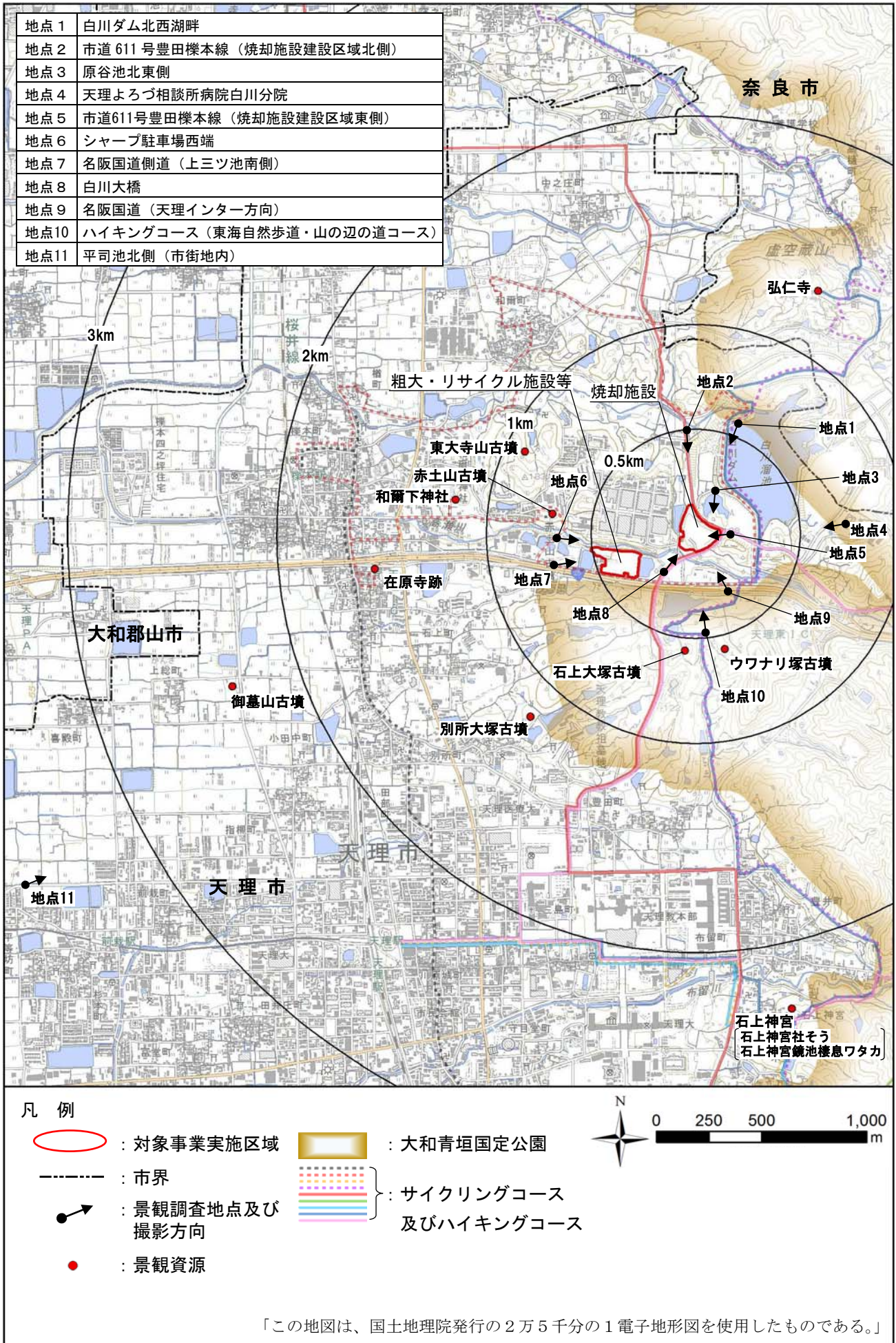


図 7.11-1 主要な眺望景観の調査地点

(4) 調査期間

主要な眺望景観の調査期間を表 7.11-3に示す。

景観の調査期間は地形条件等を考慮し、調査地域における景観に係る環境影響を適切かつ効率的に把握できる期間とし、4季（春季・夏季・秋季・冬季）において実施した。

表 7.11-3 景観の調査期間・時期及び実施日

環境要素	調査項目	調査期間
景観	主要な眺望景観	春季：平成30年5月11日（金） 夏季：平成30年8月18日（土） 秋季：平成30年11月20日（火） 冬季：平成31年1月19日（土）

(5) 調査結果

1) 文献その他の資料調査

文献等により調査した主要な眺望点及び景観資源の状況は、「4. 対象事業実施区域及びその周囲の概況 4.1自然的状況 4.1.6景観並びに人と自然との触れ合いの活動の状況及び人と文化遺産との触れ合いの状況」に示すとおりである。

2) 現地調査

① 調査結果

調査地点における景観構成要素と年間を通しての景観特性を表 7.11-4に、調査地点ごとの眺望景観の状況を表 7.11-5に示す。

表 7.11-4 調査地点ごとの景観構成要素と年間を通しての景観特性

地点番号・名称	景観構成要素	通年の景観特性
地点1 白川ダム北西湖畔	・ダム湖 ・樹林 ・草地 等	植栽の色や生育状況が季節ごとに多少変化するものの、対象事業実施区域方向への見通しについては、4季を通して変化しない。
地点2 市道611号豊田櫟本線	・道路 ・樹林 ・鉄塔 等	
地点3 原谷池北東側	・道路 ・樹林 ・民間工場 等	
地点4 天理よろづ相談所病院 白川分院	・樹林 ・柵 等	植栽の落葉により、冬季に対象事業実施区域への見通しが良くなる。
地点5 市道611号豊田櫟本線	・道路 ・樹林 ・民間工場	植栽の色や生育状況については季節ごとの変化は小さく、対象事業実施区域方向への見通しについては、4季を通して変化しない。
地点6 シャープ駐車場西端	・道路 ・樹林 ・民間工場 等	
地点7 名阪国道側道	・駐車場 ・樹林、草地 ・民間工場 等	
地点8 白川大橋	・橋梁 ・樹林 ・鉄塔、民間工場 等	
地点9 名阪国道	・中央分離帯 ・樹林 ・民間工場 等	
地点10 ハイキングコース	・樹林、草地 ・自動車専用道路、橋梁 ・民間工場 等	
地点11 平司池北側	・田園 ・樹木 ・市街地、山並み 等	

表 7.11-5(1) 調査地点の景観写真と眺望景観の状況

調査地点	春季（平成30年5月11日撮影）	夏季（平成30年8月18日撮影）	秋季（平成30年11月20日撮影）	冬季（平成31年1月19日撮影）
地点1 〔白川ダム北西湖畔〕				
<p>【眺望景観（焼却施設方向）の状況】 上部の空と下部のダム湖に挟まれた帯状の湖畔植栽（草地、中高木）で構成される眺望景観である。湖畔林の背後に景観資源の大和青垣国定公園、石上大塚古墳がわずかに確認できる。</p>				
地点2 〔市道611号豊田樺本線〕				
<p>【眺望景観（焼却施設方向）の状況】 道路進行方向への眺望景観であり、アスファルト舗装、左側の法面植栽、上部右側の空を主体に構成される眺望景観である。道路右側には沿道建物と植栽が混在している。</p>				
地点3 〔原谷池北東側〕				
<p>【眺望景観（焼却施設方向）の状況】 眺望点と計画地の間にある池周辺の植栽が正面に存在し、上部の空と下部のアスファルト舗装で構成される眺望景観である。右側に実施区域西側の民間工場が確認できる。</p>				

表 7.11-5(2) 調査地点の景観写真と眺望景観の状況

調査地点	春季（平成30年 5 月11日撮影）	夏季（平成30年 8 月18日撮影）	秋季（平成30年11月20日撮影）	冬季（平成31年 1 月19日撮影）
地点4 〈天理よろづ相談所病院 白川分院〉				
<p>【眺望景観（焼却施設方向）の状況】 駐車場周辺の植栽により対象事業実施区域方向への眺望はほとんどできないが、冬季は実施区域西側の民間工場がわずかに確認できる。</p>				
地点5 〈市道 611号豊田樺本線〉				
<p>【眺望景観（焼却施設方向）の状況】 道路進行方向への眺望景観であり、アスファルト舗装、道路左右の植栽、空により構成される眺望景観である。正面に実施区域西側の民間工場が確認できる。</p>				
地点6 〈シャープ駐車場西端〉				
<p>【眺望景観（リサイクル施設方向）の状況】 道路植栽と空に挟まれる形で、左側に民間工場及び樹林があり、中央から右側にかけては景観資源の大和青垣国定公園の山並を背景にした白川大橋が遠方に確認できる。</p>				

表 7.11-5(3) 調査地点の景観写真と眺望景観の状況

調査地点	春季 (平成30年 5月11日撮影)	夏季 (平成30年 8月18日撮影)	秋季 (平成30年11月20日撮影)	冬季 (平成31年 1月19日撮影)
地点7 〔名阪国道側道〕				
【眺望景観 (対象事業実施区域方向) の状況】 駐車場及び道路と空に挟まれる形で、左側に民間工場及び樹林があり、中央には景観資源の大和青垣国定公園の山並を背景にした白川大橋が遠方に確認できる。				
地点8 〔白川大橋〕				
【眺望景観 (焼却施設方向) の状況】 白川大橋歩道部からの眺望景観で、正面の樹林地の背後遠方に景観資源の大和青垣国定公園の山並が確認できる。				
地点9 〔名阪国道〕				
【眺望景観 (焼却施設方向) の状況】 名阪国道の中央分離帯と空の間に、樹林地と対象事業実施区域西側の既存建物が確認できる眺望景観である。				

表 7.11-5(4) 調査地点の景観写真と眺望景観の状況

調査地点	春季（平成30年5月11日撮影）	夏季（平成30年8月18日撮影）	秋季（平成30年11月20日撮影）	冬季（平成31年1月19日撮影）
地点10 ハイクینگコース				
<p>【眺望景観（焼却施設方向）の状況】 ほぼ中央にある名阪国道より手前の草地と背後の空に挟まれる形で、左側に白川大橋と対象事業実施区域西側の民間工場が、右端に景観資源の大和青垣国定公園がわずかに確認できる。</p>				
地点11 平司池北側				
<p>【眺望景観（対象事業実施区域方向）の状況】 景観の大半を占める空と田園に挟まれ、景観資源の大和青垣国定公園の山並を背景とした市街地が線状に確認できる眺望景観である。また、景観資源の和爾下神社の森がわずかに確認できる</p>				

7.11.2 施設の存在による景観の影響

(1) 予測

1) 予測項目

予測項目は、主要な眺望点の状況、景観資源の状況、主要な眺望景観とした。

2) 予測方法

景観の予測は、事業計画による主要な眺望点及び景観資源の改変がないことから、主要な眺望景観についてフォトモンタージュ法により行い、主要な眺望景観における景観の変化を予測した。

3) 予測地域・予測地点

予測地点は現地調査を実施した11地点（p518、図 7.11-1を参照）とした。

4) 予測期間

予測時期は、調査地点4（天理よろづ相談所病院白川分院）のみ落葉により冬季における対象事業実施区域への見通しが良くなることから冬季とした。

その他の地点については、以下の理由により春季とした。

- ・季節ごとの対象事業実施区域への見通しにほとんど変化がなく、また紅葉や花木等により特徴付けられる代表的な眺望の季節がない
- ・11地点中8地点が人と自然との触れ合いの活動の場（サイクリング及びハイキングコース）であり春秋の利用者が多く見込まれ、特に春季は学校の春休み等もあり利用者が多いと考えられる。

また、環境影響を的確に把握するため、施設外周部の植栽（高木）が成長した時期を想定し予測した。

5) 予測結果

主要な眺望点からの眺望景観の変化の程度を表 7.11-6に示す。

表 7.11-6(1) 眺望点1 (白川ダム北西湖畔) における眺望景観の変化の程度 (春季)

<p>現況写真</p>	
<p>フォトモンタージュ</p>	
<p>変化の程度</p>	<p>中央部帯状の湖畔植栽の背後に焼却施設が出現する。上部の空と下部のダム湖で構成される景観に大きな変化はなく、左側湖畔林の背後にある景観資源の大和青垣国定公園の山並への眺望は阻害されないが、中央部の景観を構成する湖畔植生より焼却施設の存在が大きいことから、景観に変化が生じると予測する。</p>

表 7.11-6(2) 眺望点2 (市道611号豊田櫛本線) における眺望景観の変化の程度 (春季)


<p style="writing-mode: vertical-rl;">現況写真</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl;">フォトモンタージュ</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl;">変化の程度</p>	<p>正面に焼却施設の一部が出現するが、眺望景観における存在は大きくなく、現状の主にアスファルト舗装、左側の法面植栽、上部右側の空、道路右側の沿道施設と植栽で構成される眺望景観は事業実施後も継続することから、眺望景観の変化は小さいと予測する。</p>

表 7.11-6(3) 眺望点3 (原谷池北東側) における眺望景観の変化の程度 (春季)

現況写真	
フォトモンタージュ	
変化の程度	<p>眺望点と計画地の間にある池周辺の植栽の背後に焼却施設が出現する。右側の民間工場より眺望点の近くに存在し、眺望景観に占める割合も大きいことから、眺望景観に変化が生じると予測する。</p>

表 7.11-6(4) 眺望点4（天理よろづ相談所病院白川分院）における眺望景観の変化の程度（冬季）

現況写真	
フォトモンタージュ	
変化の程度	<p>眺望点周辺の木々の間から、落葉した樹木の背後に焼却施設がわずかに出現するが、景観の主体は眺望点周辺の木々であり、眺望景観における存在は非常に小さいことから、眺望景観の変化は小さいと予測する。</p>

表 7.11-6(5) 眺望点5 (市道611号豊田櫛本線) における眺望景観の変化の程度 (春季)

<p>現況写真</p>	
<p>フォトモンタージュ</p>	
<p>変化の程度</p>	<p>現況において正面に見える既存民間工場の手前に焼却施設が出現する。既存民間工場より眺望点の近くに存在し、眺望景観に占める割合も大きいことから、眺望景観に変化が生じると予測する。</p>

表 7.11-6(6) 眺望点6 (シャープ駐車場西側) における眺望景観の変化の程度 (春季)

現況写真	
フォトモンタージュ	
変化の程度	<p>道路植栽の背後に粗大・リサイクル施設の外周植栽と背後の建物が出現するが、外周植栽により周辺の及び背後の樹林と調和する景観となっており、背後にある景観資源の大和青垣国定公園の山並への眺望を阻害しないことから、眺望景観の変化は小さいと予測する。</p>

表 7.11-6(7) 眺望点7 (名阪国道側道) における眺望景観の変化の程度 (春季)

現況写真	
フォトモンタージュ	
変化の程度	<p>駐車場の後方に粗大・リサイクル施設の外周植栽と背後の建物が出現し、さらにその後方に焼却施設が確認できる。背後にある景観資源の大和青垣国定公園の山並への眺望がわずかに阻害されるが、眺望景観において占める割合は小さく、また、外周植栽や曲線の屋根形状により周辺の樹林や背後の山々と調和する景観となっていることから、眺望景観の変化は小さいと予測する。</p>

表 7.11-6(8) 眺望点 8 (白川大橋) における眺望景観の変化の程度 (春季)

現況写真	
フォトモンタージュ	
変化の程度	<p>正面樹林地の背後に焼却施設が出現する。主に視線方向の道路(白川大橋)と背景の空で構成される景観は継続するが、施設が遠方に見える景観資源の大和青垣国定公園の山並より手前に存在し、眺望景観における存在も大きいことから眺望景観に変化が生じると予測する。</p>

表 7.11-6(9) 眺望点9 (名阪国道) における眺望景観の変化の程度 (春季)


現況写真	
フォトモンタージュ	
変化の程度	<p>名阪国道沿い樹林地の背後に、対象事業実施区域西側の既存民間工場とほぼ同等規模の焼却施設が、既存民間工場と近接する状況で出現するが、景観要素としては近接する既存民間工場と一体的に認識されることもあり、景観の大半が空と名阪国道の中央分離帯で構成される眺望景観においてその存在は大きくないことから、眺望景観の変化は小さいと予測する。</p>

表 7.11-6(10) 眺望点10 (ハイキングコース) における眺望景観の変化の程度 (春季)



<p>現況写真</p>	
<p>フォトモンタージュ</p>	
<p>変化の程度</p>	<p>名阪国道の上部に、対象事業実施区域西側の既存民間工場とほぼ同等規模の焼却施設が、既存民間工場と近接する状況で出現するが、景観要素としては近接する既存民間工場と一体的に認識されることもあり、景観の大半が空と草地(緑)を主体に構成される眺望景観においてその存在は大きくない。また、景観資源の大和青垣国定公園の山並への眺望は確保されることから、眺望景観の変化は小さいと予測する。</p>

表 7.11-6(11) 眺望点11（平司池北側）における眺望景観の変化の程度（春季）

現況写真	
フォトモンタージュ	
変化の程度	<p>景観資源の大和青垣国定公園の山々を背景に、焼却施設がわずかに出現するが、眺望景観に占める割合は非常に小さく日常の眺望においてはほとんど認識されないと思われる、また景観資源の和爾下神社の森や大和青垣国定公園の山並への眺望状況も変化することなく、現状の眺望景観は事業実施後も継続することから、眺望景観の変化は小さいと予測する。</p>

(2) 環境保全措置

本事業では、施設の存在による景観への影響を低減するために、表 7.11-7に示す環境保全措置を講ずる計画である。

表 7.11-7 施設の存在による景観への影響に係る環境保全措置

項目	環境保全措置の内容	環境保全措置の効果	他の環境への影響
工作物配置 建物構造・色彩 緑化	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却施設の煙突は公道側の敷地境界から離れた位置に配置する。 ・建築物は、周辺の山並みに調和した形状、色彩、デザインとし、やわらかい曲線形状の採用等について検討する。 ・建築物の周辺や敷地の外周部に高木を植栽する。 ・建築物の高さは、可能な範囲で低くする。 	煙突の位置及び高さ、周辺と調和する建物デザイン等を検討し、建築物の外周部を緑化することにより、施設の存在による景観への影響の低減が見込まれる。	他の環境への影響はない。

注) 環境保全措置のうち上段の3項目については予測に反映している。

(3) 事後調査

予測の結果、景観の変化が生じる眺望地点もあるが、景観の配慮事項となる環境保全措置を踏まえて、施設設計を行うものであることから、事後調査は実施しないこととした。

(4) 評価

1) 評価の手法

施設の存在による景観に係る環境影響が、事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避または低減されているかどうかについて評価した。

2) 評価結果

予測した11地点のうち、地点1、3、5、8の4地点については眺望景観に変化が生じるが、事業の実施にあたっては、眺望景観への影響を低減するための環境保全措置を実施することから、事業者の実行可能な範囲内で対象事業に係る環境影響ができる限り低減されているものと評価する。